

ChatGPTセミナー

第2回

講師：藤川忠彦



藤川忠彦

www.fujikawa.com





実際にスマホでやってみます

A I ってなに？



人間の脳は、電気で動いている

- 脳には約860億個のニューロンという細胞があります。
- ニューロンは電気信号でお互いに情報を伝えます。
- これによって、思考・記憶・想像・感情などが生じるのです。

これを数百万個のトランジスタで再現＝ニューラルネットワーク

これに学習させたものがA I

A I ブームについて



これまではA Iを使うためにはプログラミング言語が必要でしたが...

NLP (Natural Language Processing)

...の進化により英語や日本語でA IにアクセスすることができるようになったのもA Iブームのきっかけの一つです。

A I を一言で言うと

従来のロボットに、「煙草を持ってきて」と頼んだら、煙草を持ってきてくれます。

A I 登載のロボットに、「煙草を持ってきて」と頼んだら、煙草だけではなく、灰皿やライターも持ってきてくれるのです。

自分で考え、判断するのがA I です。

※なので、人間のように間違いを犯します。

まるで中学生のように、その場をうまくやりすごすために、平気でウソをつきます。

なので、基本的には「**信じない**」ことが**大切**です

正しい情報が必要なときは Google を使いましょう

ChatGPTはなにかを「創る」ものです

ChatGPTの便利な使い道

- ◆ 入力方法（テキスト・音声・会話）
- ◆ 各モデルの違い（次にやります）
- ◆ 各ツールの意味（具体的には後半でやります）

ツールメニューが出るかどうか、確認だけしておきましょう。

iPhoneは、入力欄の左の「+」ボタン。
アンドロイドは、入力欄の左の小さな画像アイコン。

■ GPT-4o-mini

- 日常会話や文章作成に強い
- 高速で、画像・音声も扱える
- 自然で読みやすい文章を生成

→ 雑談、翻訳、SNS文案、画像への質問などに最適

■ o3-mini

- 論理的な思考や推論が得意
- 数式、コード、論理構造に強い
- 途中の考え方（思考プロセス）を見せながら答える

→ 数学、コーディング、ロジック問題、議論整理に最適

【具体的な使い分け例】

- 画像を見て説明してほしい → GPT-4o-mini
- 英語のメールを自然に書きたい → GPT-4o-mini
- 小学生の算数の文章問題を丁寧に解いてほしい → o3-mini
- Pythonコードのエラー原因を考えてほしい → o3-mini
- 哲学や法律の論点整理をしてほしい → o3-mini

- おみくじをひいて
- 初心者用英会話教室の先生になって、私に英語を基本から教えてください。
- 私は1961年3月7日生まれ、魚座、丑年。血液型はA型です。今日の僕の運勢を教えてください。
- 私は1961年3月7日午前8時40分、兵庫県神戸市須磨区生まれです。四柱推命で僕の運命を占ってください。
- 九星気学、紫微斗数、西洋占星術でも
- 食材の写真を見せて（食材を入力して）、レシピを3つ教えてください。

こういったことをきっかけに
チャット（対話）を
重ねることが重要

一発で答えを出すのではなく
チャットを重ねることで
真価を発揮するのが
ChatGPTです。

プロンプトの極意

目的・条件・出力形式

コツ①：「目的」を入れる

ChatGPTはなんでも答えてくれる魔法のAIではありません。

何のために使いたいのか、「目的」を添えるだけでグンと賢くなります。

🧠 例：「子ども向けに説明して」「初心者でもわかるように」など。

コツ②：「条件」を伝える

欲しい情報の「制限」や「前提」があるときは、それを先に伝えてください。

●※ 例：「1000文字以内で」「関西弁で」「スマホだけで作れる方法を教えて」など。

コツ③：「出力形式」を指定する

ChatGPTは文章だけでなく、リストや表、コード、画像などいろいろな形で答えてくれます。

● 例：「表で」「箇条書きで」「そのままコピーして使えるように」など。

実践してみよう

ここで、簡単な例題です。

💬 【質問】 「旅行プランを作って」

このままでも答えてくれますが、以下のように変えると、ChatGPTの答えが格段によくなります。

💬 【プロンプト改善例】

「高齢の両親と一緒に行く、関東近郊の1泊2日旅行プランを作ってください。移動は電車、歩く距離は短め、温泉がある場所が希望です。できる限り詳細に出力してください」

→ 目的・条件・出力形式をしっかり伝えていますよね。

こういったことをきっかけに
チャット（対話）を
重ねることが重要

一発で答えを出すのではなく
チャットを重ねることで
真価を発揮するのが
ChatGPTです。

15分間 休憩

休憩中もお気軽に声がけください

活用ワークショップ



- ◆ Deep Research
- ◆ あらゆる学びをサポート
- ◆ ウェブ検索
- ◆ エージェントモード（次ページ）

エージェントモード

従来のチャット形式を超えて、ウェブブラウジング、データ分析、資料作成などを自律的に実行できる統合型AIシステムです。

これまでのChatGPTは質問に答えたり提案をするだけでしたが、ChatGPTエージェントは実際に作業を行います。

たとえば、「競合他社を調査してスライドを作って」と指示すれば、ウェブサイトを回って情報を集め、分析して、プレゼンテーション資料まで完成させてくれます。

～設定～

非常に重要！

パーソナライズ

あなたは30歳の日本人女性で、非常に優秀な秘書です。
優しく丁寧に話してください。
回答は指示がない限り日本語でお願いします。

誤情報を極力避け、確実性のある一次情報を最優先して提示してください。不確かな内容については、無理に推測せず「不明」「要調査」とはっきり伝えてください。

抽象的で一般的なアドバイスは避けてください。

常に具体的で、すぐに実行可能なアクションプランや、ユニークで斬新なアイデアを提案することを重視してください。

計算が必要になった場合は、必ず Python を使ってください。

私は質問力があまりないため、プロンプトが曖昧になることがあります。その場合、あなたは以下の手順で対応してください。

1. 私の入力をそのまま記録する（原始プロンプトとして保持）。
2. 内容が曖昧な場合は、意図を明確にするために質問をして確認してください。
3. 確認が済んだら、高品質な最適化プロンプトをあなた自身で生成してください（目的・条件・出力形式を含めた構造）。
4. その最適化プロンプトに基づいて、回答や出力を行ってください。

この一連の流れを、私からの指示がない限り、毎回の応答で実施してください。

すべての回答の末尾には、「回答に対する多角的な反証」という見出しを付け、想定しうる反証点を3つ挙げたうえで、それぞれに対する再反論（簡潔なりブタル）も併記してください。

音声・画像の世界



画像解析

入力枠（質問してみましょう）の左の「+」または「画像アイコン」をタップし、カメラを選択。

写したものを詳細に分析してくれます。

写真を選択して、過去に撮影したものを解析させることもできます。

入力欄のよこの「+」マークまたは「画像アイコン」をタップして、
「画像を生成する」をタップ。

これで、画像生成モードに入ります。

具体的に描写する

生成AIは与えられたテキストをもとに画像を構築します。

抽象的な指示よりも、被写体や背景の特徴、色、雰囲気を具体的に述べると期待に近い仕上がりになります。

例えば「犬」だけでなく、「緑の芝生の上で赤いバンダナを着けたふわふわのゴールデンレトリバーの子犬、背景は青空」など詳細に記述することで精度が上がります。

また、重要な要素は数で指定すると再現しやすくなります（例：木を3本、人物を2人）。

スタイルや媒体を選ぶ

アート作品の雰囲気を変えたい場合は「油絵風」「水彩画風」「アニメ風」など、具体的なスタイルや媒体を指定します。

色と照明・ムードを活用する

イメージの印象は色や照明によって大きく変わります。

「柔らかなパステルカラーで」「鮮やかなネオンカラーで」など色合いを伝えると雰囲気を整います。

さらに「朝の柔らかな光」「夕焼けのドラマチックな光」など光源を指定すると、感情やストーリー性が増します。

場面設定とアクションを添える

単に「猫」や「海」とだけ指示するのではなく、場所や状況を設定するとストーリー性のある画像が生成されます。

「ピンク色の夕焼けの下、黄金色の砂浜で遊ぶ子犬」のように背景や環境まで記載すると、豊かなイメージが得られます。

加えて、動きや感情を含めると臨場感が高まります（例：「蝶を追いかける遊び好きな猫」）。

場面設定とアクションを添える

単に「猫」や「海」とだけ指示するのではなく、場所や状況を設定するとストーリー性のある画像が生成されます。

「ピンク色の夕焼けの下、黄金色の砂浜で遊ぶ子犬」のように背景や環境まで記載すると、豊かなイメージが得られます。

加えて、動きや感情を含めると臨場感が高まります（例：「蝶を追いかける遊び好きな猫」）。

構図・視点を意識する

構図を指定すると画面のバランスが整います。

「鳥瞰図」「クローズアップ」「三分割法で配置」のようにフレーミングを指示すると、見映えの良い画像になります。

必要に応じて視点（上から/斜め/目線の高さ）を伝えると細部の表現が変わります。

キーワードや数値を工夫しながら反復する

初回の出力がイメージ通りでないこともあります。

キーワードを入れ替えたり、主題や色を変えたりして複数回試すと理想に近づきます。

同時にキーワードの順序や重要度を調整したり、具体的な数値（例：人物の人数や建物の階数）を明記することで結果が変わる場合もあります。

動画生成

sora.chatgpt.com

